



森の里小学校  
研修部通信  
令和4年5月27日

## ノートの書き方&ブロック研

23日(月)の研修はノートの書き方とブロック研を行いました。ノートは前年度と同じ書き方をしていくということと、クロームブックを使っても見開きでノートを書くということを確認をしました(下図)。

### ◎これまでのノートの形式(例)

問題	課題
自分の考え	まとめ
友達の考え	ふりかえり
	練習問題

### ◎クロームブック使用時のノートの形式

問題	課題
友達の考え	まとめ
※式と答えを書く。 ※ペア交流で交流したことを書く。	ふりかえり
※クロームブックで考えがまとまった子からノートにまとめる。	練習問題

## ①低学年ブロックのブロック研

### A グループ

#### 仮説1・視点1

- ・既習事項を活用し本時や単元を見通す。
- ・課題を子どもたちの言葉から引き出す。
- ・ICT機器を使って見通しをもつ。
- ・子どもたちが考えたいような問題の工夫
- ・操作的な活動を取り入れる。

#### 仮説2・視点2

- ・自分の考えを、練習し説明できるようにする。
- ・自分と相手の考えを比べながら聞く。
- ・簡単なことから伝えていく。
- ・何がわかったか、評価の見取り方を工夫。
- ・まとめのあとに振り返りをする。

### B グループ

#### 仮説1・視点1

- ・掲示を使った振り返り
- ・言葉、図、式など課題解決の手段を確認する。
- ・課題を子どもたちから引き出す。
- ・問題を身近なものに置き換える。
- ・毎時間の流れを同じにする。

#### 仮説2・視点2

- ・交流したことの相違点を聞く。
- ・グループで話したことを1つにまとめる。
- ・友達の考えを発表する。

## ②高学年ブロックのブロック研

### Cグループ

#### 仮説1・視点1

- ・図に表したことを言葉にする。
- ・具体物の活用
- ・前時と本時のちがいを確認する。
- ・段階的に問題の揭示をする。

#### 仮説2・視点2

- ・ふり返られるノート作り
- ・ペア交流で全体交流の発表につなげる。
- ・同じ答えでも説明の仕方を交流する。
- ・友達の考えをメモする。

### Dグループ

#### 仮説1・視点1

- ・言葉・式・図を効果的に活用する。
- ・図や数直線をノートにはる。
- ・デジタルコンテンツ、パワーポイントの活用
- ・見通しをもたせるために数字を簡素化する。
- ・スライドを使ったふり返り。

#### 仮説2・視点2

- ・自分の考えを伝え合う場の設定をする。
- ・反応がないときは近くの人とすぐ交流。
- ・学習でわかったことを文章化。
- ・まとめを自分たちで共有する。
- ・友達の説明を聞き、理解を深める。

## ③特別支援学級の実践

- ・個々に合わせた指導内容の工夫（学習環境や教材の精選と工夫）  
→個別指導計画、個別支援計画の充実  
合理的配慮の充実
- ・日常生活に生きる指導内容工夫  
→自立活動、日常生活の指導、生活単元学習の充実
- ・集団や少集団での学習や活動における社会性の高まり  
→合理的配慮とインクルーシブ教育の理念の推進

各学年・ブロックで抱えている課題はそれぞれ違いますが、少しでも子どもたちが「わかる・できる」「がんばった・やりきった」など達成感がもてるように今年度も授業改善を行っていきましょう。

#### 今後の予定

- ・6月17日(金) 提案授業  
「100より大きい数をしらべよう」
- ・6月27日(月) 事後研  
全校研授業者を決めます！



私が授業者です。